

山形猟友会前会長 佐藤さんに感謝状

市、有害鳥獣対策尽力

有害鳥獣対策に尽力したとして、山形市は29日、山形猟友会前会長の佐藤勝彦さん(88)に同市東青田2丁目IIに感謝状を贈った。市内全域で農作物被害抑止に当たる市鳥獣被害対策実施隊での貢献などが高く評価された。

佐藤さんは2014年度から8年間、山形猟友会会長を務めた。有害鳥獣による



感謝状を受ける佐藤勝彦さん(中央)

山形市役所

農作物被害増加を受けて17年4月に同隊が設置されると、隊員の捕獲技術向上のための指導や研修会開催などを継続して実施。市内における農作物被害が21年度は4259万円に上る中、同隊は20年度に400頭、21年度には412頭のイノシシを捕獲するなど成果を上げている。

贈呈式では、佐藤孝弘市長が佐藤さんに感謝状を手

渡し「有害鳥獣対策は専門的な分野でもあり、会員の皆さんの協力が実効性のある対策につながっている」と謝辞を述べた。佐藤さんは「地域社会の安全・安心確保のため、捕獲や生息数調整のための狩猟が求められている。今後も猟友会として、社会貢献の環境で協力していく」と語った。

(伊豆田拓)